

ワークを通して実践的に学ぶ

価値ある技術を生み出すための『技術戦略』立案法

【開催要領】

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 7月 4日(木) 10:30~16:30

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【開催にあたって】

前半は商品開発部署やR&D部署の開発者が、既存事業・商品のみにとらわれず、継続的に新しい価値を生み出すために必要な「シンプル技術戦略」と「開発推進法」を紹介します。後半は演習・ワークを中心に目指す分野・業種などカテゴリや事業規模に応じた開発テーマの創出から技術戦略を立案し、事業化・商品化につなげるための具体的な開発ノウハウを習得します。ワークでは特に難易度が高い開発テーマの探索をR&D技術・コア技術と市場ニーズから定義し、明確で実現性の高い「技術開発戦略」や「技術ロードマップ」へと展開する方法を解説します。

講師 株式会社ファースト・イノベーテック 川崎 響子 氏

講師紹介

大学卒業後、NEC(現マイクロン テクノロジー)にてラムバス DRAM 開発、また LSI ロジック(旧 LSI)にて一部上場企業の複合機や通信機器 LSI 開発に従事する。(株)リコーにて LSI やハード・ソフト全体組み込みシステム開発、および技術戦略立案に従事する。主に新規事業の立ち上げや新商品の開発や SoC 組み込みシステム構想などを行う。また、技術戦略の立案リーダーとして、売上アップにつなげる戦略立案、および開発提案から商品実用化開発までを一貫して遂行する。2017 年より(株)ファースト・イノベーテックを立ち上げ、新商品開発に関わるコンサルティングを行う。主な開発商材インクジェットプリンタ、レーザープリンタ・複合機、自動車、IOT 商材

【申込方法】 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書を FAX でご送信いただく際は、ご使用の FAX 機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	41,040円(本体価格 38,000円)	一般	45,360円(本体価格 42,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191438-0101 『技術戦略』立案法

ふりがな 会社名			
住所			
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛 E-mail からもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会 HP にてご確認いただけます。(TOP)→[公開セミナー]→[よくあるご質問]

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

【プログラム】

1. 現状を取り巻く課題と解決への筋道

- (1) 製造業・テクノロジー企業を取り巻く環境の変化
- (2) 開発組織こそが新規事業リーダーになる理由
- (3) 技術開発の全体フロー

2. 価値ある技術を生み出す「シンプル技術戦略」の基礎

- (1) 価値ある技術を作るための3つの重要スキル
- (2) 「シンプル技術戦略」の目的と役割
- (3) A4一枚で作る「シンプル技術戦略」の基本構成
- (4) 技術開発と上手に並行して進める活動推進のポイント

3. 「シンプル技術戦略」の作成方法

- (1) 目指すカテゴリに応じた開発テーマの設定
- (2) 目指すカテゴリの設定(隣接・飛び地)
- (3) 市場ニーズ調査
- (4) 技術シーズの棚卸し
- (5) 開発テーマ評価
- (6) 基本戦略の決定
- (7) プレない主軸を定義する
- (8) 未来への道筋を明確にするロードマップ作成方法
- (9) 優先順位の決定
- (10) QCQ 設定
- (11) 複数シナリオによるリスクヘッジの考え方

4. 【演習&ワーク】 目指すカテゴリ: 隣接市場・改良技術

- (1) 隣接市場・改良技術における技術開発のポイント
- (2) 隣接市場のニーズ調査
- (3) 改良技術の棚卸し・コア技術育成
- (4) 新商品アイデア創出
- (5) 新商品アイデア評価
- (6) 開発テーマ設定
- (7) 技術戦略の立案
- (8) 開発計画の作成

5. 【演習&ワーク】 目指すカテゴリ: 飛び地市場・革新技術

- (1) 飛び地市場・革新技術における技術開発のポイント
- (2) 飛び地市場のニーズ調査
- (3) コア技術の棚卸し・革新技術への展開
- (4) 新商品アイデア創出
- (5) 新商品アイデア評価
- (6) 開発テーマ設定
- (7) 技術戦略の立案
- (8) 開発計画・リスクヘッジ計画の作成

6. 質疑応答

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。